



GENELEC®



聴力と 脳の関係

人間の耳は、実際に脳が認識するよりもはるかに多く情報を受け取っています。聴覚に限らず人間のすべての感覚は、受け取った情報のほんの一部を脳が認識しているに過ぎません。聴覚は人間の感覚の中で最も時間に正確と言われており、脳幹の“前処理”と無意識の反射神経に大きく関与しています。

外耳は非常に洗練された構造を持ち、音がどこからやって来たかを的確に認識します。まるで専用の指向性マイクを2本持ち歩いているかのようです。耳と脳は、大量の神経



インパルスによる60dB以内の連続的なフィードバック・ループを用いて、中耳と内耳の反応を調整しています。また室内での直接音と反射音の識別など、より細かな音の認識は頭部の動きが担っており、人間の身体で最もエネルギー消費の高い神経シナプスが左右の耳からの信号比較を行っています。

つまりサウンドの繊細なニュアンスは、訓練されたリスナーだけが認識できるのです。ミュージシャンやオーディオ・プロフェッショナルは、サウンド・イメージ、ピッチ、

スペクトル・バランス、一瞬の変化や質感などをより認識できるように鍛錬を続けています。THE ONESは、サウンドの隅々まで聴くことを望む耳の肥えたリスナーのために作られた製品です。



究極の ポイント ソース モニター

マイクのポジショニングは、設置する位置や向きのかな違いによって録音結果が大きく変化するため、レコーディングにおいて非常に重要です。通常この作業は耳を頼りに行われるため、適切な位置にマイクを設置するには、正確なモニタリング・システムが必要です。またミックスやマスタリングの場合も、制作したコンテンツを他のシステムや再生環境で適切に再生する必要があるため、モニタリング・システムの信頼性が重要となります。

従来のスタジオ・モニターは各ドライバーの位置が物理的に異なるため不要な色づけが生じ、その結果スイート・スポットの一点でしかベストなサウンドが

得られないという欠点がありました。この問題を解消できるポイント・ソース理論は、これまでモニター設計における究極のゴールと言われてきました。これまで多くのメーカーが究極のポイント・ソース・モニターへのチャレンジを行ってきましたが、いずれも成功には至っていません。狭い周波数レンジ、不均一な音の分散、歪み、SPLの不足など様々な問題を抱えていました。

THE ONES はこれらの問題を解決した究極の3ウェイ・ポイント・ソース・モニターです。巨大なウェーブガイドが統合され信号の放射を適切にコント

ロールします。制作時の判断が素早くなるだけでなく、聴き疲れの主な原因とされる不自然なイメージングが最小限に抑えられており、従来のモニターに比べ長時間のリスニングにも耐えられる、自然なサウンドを特徴とします。また、超至近距離から中距離での使用が可能な、唯一無二の3ウェイ・モニターです。

GLMによる リファレンス モニタリング

モニター・スピーカーは、室内の設置位置によって周波数応答が大きく変化します。信頼できるリスニング環境を構築するには、スピーカー設置後にキャリブレーションを適切に行う必要があります。従来のGenelecモニターは補正用のマニュアルEQスイッチを備えていましたが、THE ONESはより精密な自動補正機能を搭載しています。音響条件の悪い環境でも正確なリファレンス・モニタリングを提供します。

THE ONESを初めとするスマート・アクティブ・モニタリング・システムは、GLM™ (Genelec Loudspeaker Manager) ソフトウェアを使うことでモニターの配置やキャリブレーション、管理を簡単にセットアップできます。1つのモニター・システムで複数のセッティングを切り替えながらの運用も可能です。GLMセットアップは、モノラル、ステレオ、5.1、7.1、7.1.2、7.1.4のシステムに対応し、それぞれを自由に切り替えることができます。たとえばステレオ運用時、ワークステーションの同じステレオ出力端子を用いてニアフィールド・モニターとメイン・モニターを切り替えることも可能です。またGLMは、天井スピーカーやサブウーファーを含むすべての再生システムをサポートします。

GLMソフトウェアは、過去数十年に渡り膨大な数のスタジオから収集した貴重なデータをもとに、ネットワーク上の各モニター・レベル、距離、周波数応答を素早く補正します。外部のプロセッサーを使わずに最新のモニタリング基準に準拠した信頼性の高い作業環境を構築可能です。

壁面埋め込み以外の設置方法でピークやディップの無い低域応答を得ることは、ニアフィールド運用と並びリファレンス・モニタリングの大きな課題とされてきました。GLMとW371アダプティブ・ウーファー・システムを併用することで、この問題は過去のものとなります。低音域の色づけから解放され、スタンドも不要のモニタリング・システムを構築可能です。



ポイント・ソース

回折フリーのアルミ製エンクロージャの中心に設置されたミッドおよびツイーター・ドライバー。ウェーブガイドの裏側にデュアル・ウーファーを搭載。すべてのドライバーは音響軸が一致。

コンパクトな3ウェイ

市場で最もコンパクトな3ウェイ・モニター。より大きなサイズのモニターに匹敵するLF指向性コントロール。ハッリ・コスキネンによる優れたインダストリアル・デザイン。

天然資源消費量への配慮

サステナブルな製造と長期間使用頂ける製品を目指し、再生可能なエネルギーとリサイクル・アルミニウムを用いたフィンランド製。低消費電力で長寿命な製品を実現。

縦／横方向に設置可

縦横いずれの向きでも一貫した音響特性。IsoPadによる柔軟な設置に対応。様々なマウント金具・アクセサリーをご用意しています。

大きなウェーブガイド

同軸ドライバーからフロント・バッフル面の全体に継ぎ目無く統合され、大きなウェーブガイドとして優れた指向性と正確なイメージングを実現。

ポイントソース の優秀さ

ニアフィールドからメインモニタリングまで

セットアップとキャリブレーション

GLM 自動キャリブレーション機能およびモニター再生環境の管理機能。アナログおよび AES/EBU デジタル入力対応。

最大 72 チャンネル・システム

ステレオからイマーシブまでのシステムを構築可能。レベル補正、ミュート、ソロ、セットアップ切り替えにも対応するモニター・コントローラーとして GLM を使用可能。

メイン・モニタリング

8341、8351、8361 と W371 アダプティブ・ウーファー・システムを併用することで、より高い SPL と優れたヘッドルーム、離れた距離でのモニタリングを実現。

VLF（超低域）にまで伸びる指向性

アダプティブ・ウーファー・システムにより低音域の指向性が向上。20 Hz まで伸びる自然でリップルの少ない室内応答を実現。

独自の LF アダプテーション

優れた LF および VLF のアダプテーション性能。最新の GLM ソフトウェアを使うことで低音域応答を改善し、真のニュートラル・キャラクターを実現。



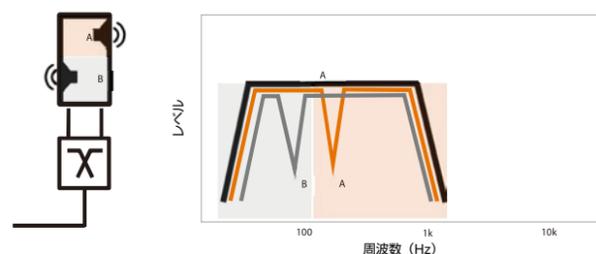
お気に入りの ルームサウンドを これまでにない 格別なものに

THE ONES は、約 50 cm から数メートルの距離で正確なモニタリングが可能です。音響条件の悪い室内環境でも妥協の無いモニタリング体験を提供します。狭い空間での超ニアフィールド・ステレオ・モニタリングから大規模なイマージブ・セットアップまで、THE ONES ファミリーは様々なルーム・サイズ、リスニング距離、SPL 要件に最適なフル・スケラブルなソリューションを提供します。

レコーディングやマスタリング、ポストプロダクションまで、THE ONES のニュートラル・サウンドと音響補正機能を体験すれば、あなたのスタジオのポテンシャルを実感できるはずです。従来のモニターでは決して得られないクオリティをお楽しみください。

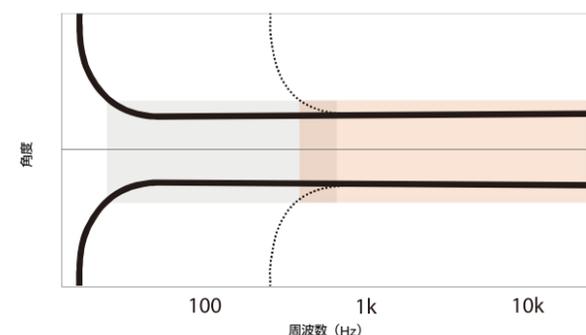
W371 アダプティブ・ウーファー・システムは、物理的な設置位置が異なる独立 2 基のウーファーを備えます。従来のシステムと異なり、いずれのユニットも動作範囲が重複しているのが特徴です。THE ONES モニターと W371 と組み合わせることで、1 つのフルレンジ・システムとして動作します。W371 は 3 種類のオペレーション・モードが用意されています。部屋特有のピークやノッチを抑えフラットな LF 応答を最大 SPL で実現するモード、メイン・モニターの指向性を最低音域にまで拡張するモード、壁面や天井の反射を抑えるモードの中から、目的に合わせて選択できます。W371 の各設置位置を設定すると、AutoCal はモニター・ポジションとリスニング・ポイントに応じて最適な LF 出力を行うための演算処理を実行します。

次ページにある水平／垂直方向のグラフは、室内で出力されたサウンドの指向性特性を示したものです。測定グラフで THE ONES の優れた指向性をお伝えるには限界がありません。実際に体験してすべてを実感してみてください。



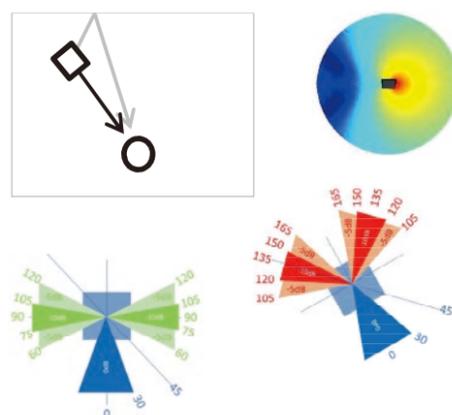
補完モードは、リスニング・ポイントにおける特定周波数の落ち込み（ノッチ）を解消します。物理的に個別の位置にある 2 基の W371 内蔵ウーファーを用いて、リスニング・ポイントに対し最適な放射を行います。

さらに GLM を用いて W371 と THE ONES のサウンドをよりニュートラルに補正することで、ダイナミックな特性を保ちながら、色付けのない自然な低音域を実現します。



連続指向性モードは、W371 に搭載される 2 台のウーファーを同時に用いて、THE ONES モニターと W371 の連続した指向性を実現します。

THE ONES モニターと W371 を組み合わせることで全体が 4 ウェイ・モニタリング・システムとして機能し、水平面の指向性を可聴範囲の最低周波数にまで拡張します。



アンチ・リフレクション・モードは、W371 内蔵の 2 基のウーファーを組み合わせ、特定の方向において無音の領域（"null" として知られている）を生成します。この無音の領域は W371 の再生周波数範囲において、リスニングルームの様々な表面によって引き起こされる反射を低減します。これにより、低域のエネルギーと部屋の残響が混じることを防ぎ、再生環境による音響への悪影響も軽減します。



測定値



8331A



8341A



8351B



8361A



W371A

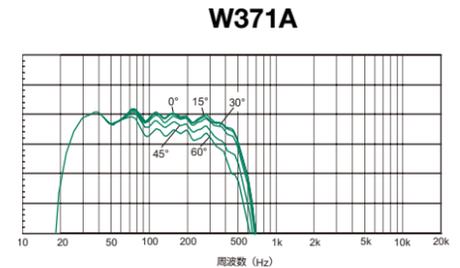
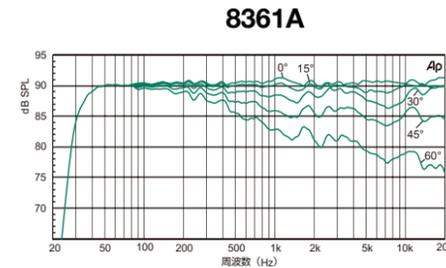
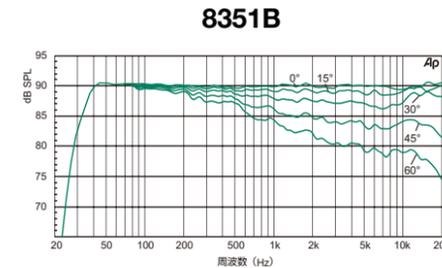
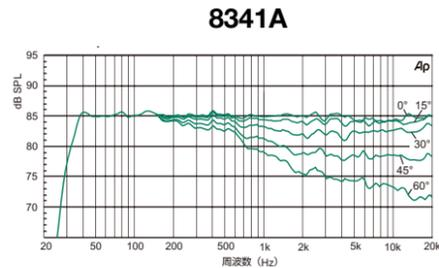
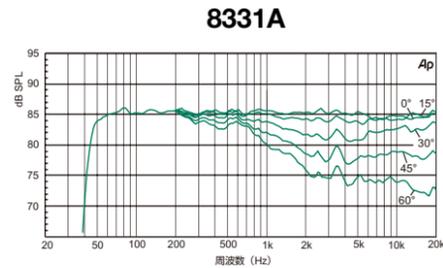
仕様

| | | |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 最大 SPL (短期) | 104/110 dB (1/0.5 m) | 110/116 dB (1/0.5 m) |
| 周波数応答 | 45 Hz - 37 kHz (-6 dB) | 38 Hz - 37 kHz (-6 dB) |
| 周波数応答の精度 | ± 1.5 dB (58 Hz - 20 kHz) | ± 1.5 dB (45 Hz - 20 kHz) |
| 自己生成ノイズ | < 0 dB (A 特性、1 m) | < 3 dB (A 特性、1 m) |
| ベース・ドライバー、デュアル | 142 x 76 mm 楕円形 (5 5/8 x 3 in) | 178 x 97 mm 楕円形 (7 x 3 7/8 in) |
| ミッド・ドライバー | 90 mm 同軸 (3 1/2 in) | 90 mm 同軸 (3 1/2 in) |
| トレブル・ドライバー | 19 mm 同軸 (3/4 in) | 19 mm 同軸 (3/4 in) |
| アンプ出力 | 72 + 36 + 36 W | 250 + 150 + 150 W |
| オーディオ入力 | アナログ、AES/EBU | アナログ、AES/EBU |
| GLM ネットワーク | デュアル RJ45 (CAT5 ケーブル) | デュアル RJ45 (CAT5 ケーブル) |
| キャリブレーション切り替え | DIP スイッチまたは GLM AutoCal | DIP スイッチまたは GLM AutoCal |
| 寸法 H x W x D | 305 x 189 x 212 mm | 370 x 237 x 243 mm |
| 重量 | 6.7 kg | 9.8 kg |

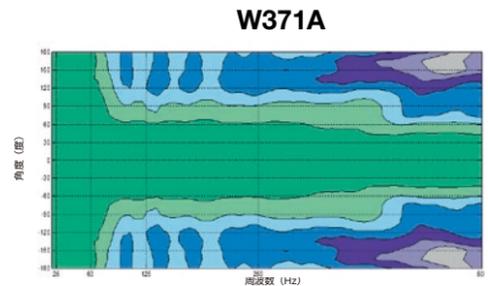
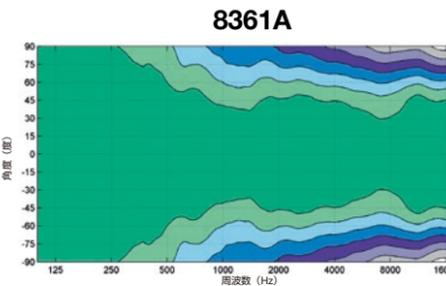
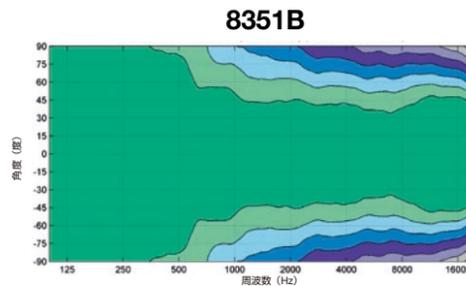
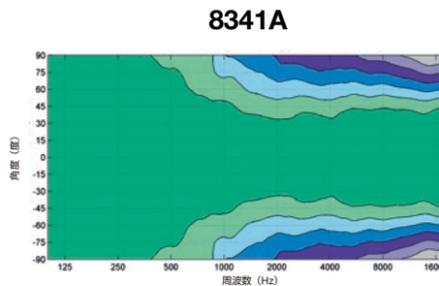
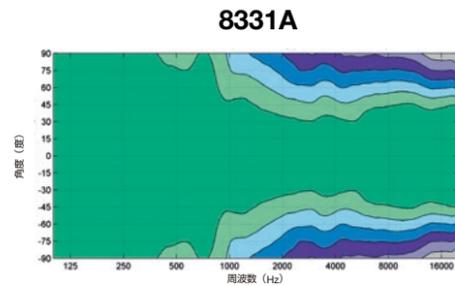
| | | |
|----------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 最大 SPL (短期) | 113/119 dB (1/0.5 m) | 118/124 dB (1/0.5 m) |
| 周波数応答 | 32 Hz - 43 kHz (-6 dB) | 30 Hz - 43 kHz (-6 dB) |
| 周波数応答の精度 | ± 1.5 dB (38 Hz - 20 kHz) | ± 1.5 dB (36 Hz - 20 kHz) |
| 自己生成ノイズ | < 5 dB (A 特性、1 m) | < 5 dB (A 特性、1 m) |
| ベース・ドライバー、デュアル | 218 x 101 mm 楕円形 (8 5/8 x 4 in) | 263 x 137 mm 楕円形 (10 3/8 x 5 3/8 in) |
| ミッド・ドライバー | 130 mm 同軸 (5 in) | 130 mm 同軸 (5 in) |
| トレブル・ドライバー | 25 mm 同軸 (1 in) | 25 mm 同軸 (1 in) |
| アンプ出力 | 250 + 150 + 150 W | 500 + 150 + 150 W |
| オーディオ入力 | アナログ、AES/EBU | アナログ、AES/EBU |
| GLM ネットワーク | デュアル RJ45 (CAT5 ケーブル) | デュアル RJ45 (CAT5 ケーブル) |
| キャリブレーション切り替え | DIP スイッチまたは GLM AutoCal | DIP スイッチまたは GLM AutoCal |
| 寸法 H x W x D | 452 x 287 x 278 mm | 593 x 357 x 347 mm |
| 重量 | 14.3 kg | 31.9 kg |

| | |
|---------------|-------------------------|
| 最大 SPL (短期) | 120 dB (1 m) |
| 周波数応答 | 23 Hz - 500 Hz (-6 dB) |
| 周波数応答の精度 | ± 3 dB (25 Hz - 450 Hz) |
| 自己ノイズ | < 15 dB (A 特性、1 m) |
| フロント・ドライバー | 356 mm (14 in) |
| リア・ドライバー | 305 mm (12 in) |
| アンプ出力 | 400 + 400 W |
| オーディオ入力 | アナログ、AES/EBU |
| GLM ネットワーク | デュアル RJ45 (CAT5 ケーブル) |
| キャリブレーション切り替え | GLM AutoCal |
| 寸法 H x W x D | 1108 x 400 x 400 mm |
| 重量 | 61 kg |

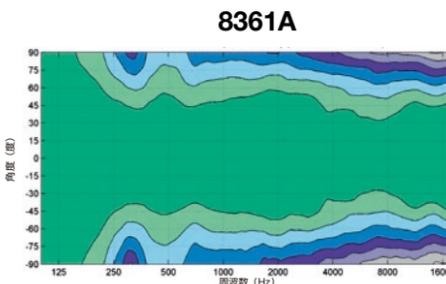
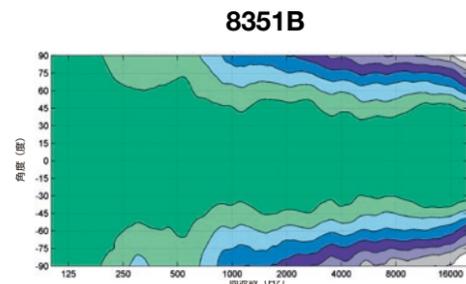
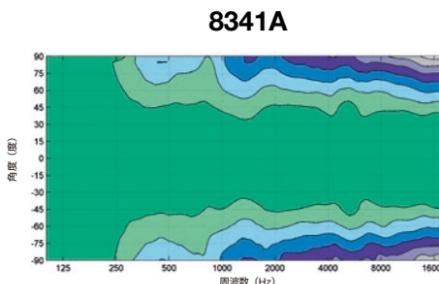
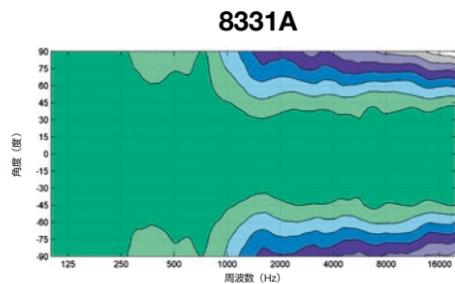
水平指向性特性
(1 M で測定)



水平面指向性
(軸上でノーマライズ)



垂直面指向性
(軸上でノーマライズ)





パフォーマンスは 高く 環境には 優しく

Genelec は、過去 40 年に渡り最先端のモニタリング革命を提供し続けてきました。パフォーマンスは常に進化を続けています。そして Genelec による最新のブレークスルー。それが THE ONES です。

生産手段、使用素材、エネルギー消費量、保守性は、一貫して管理されています。保守パーツの長期サポートと共に、これまで以上に持続可能な生産と長期使用を目標とします。

回路、アンプ、トランス、システム構成をはじめ THE ONES に含まれるすべてのテクノロジーは、設計からハンドメイド、個体テストにいたるまでフィンランド・イーサルミにある自社工場にて私たち自身の手で行われています。またすべての工程は、再生可能エネルギーによるものです。

Genelec 日本語ウェブサイト www.genelec.jp では、全モニター製品のラインナップ、選定ガイド、マウント金具、技術資料、その他の情報をご覧ください。

ジェネレックジャパン
株式会社ジェネレックジャパン
< 本社 >
〒107-0052
東京都港区赤坂二丁目22番21号

03-6441-0591 (大代表)
Email: info@genelec.jp

Genelec 全製品の詳細な技術資料および操作マニュアル、その他の有益な情報は、genelec.jp からダウンロード可能です。
2019年11月 Copyright Genelec Oy & 株式会社ジェネレックジャパン。すべてのデータは予告無しに変更される場合があります。